

## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 株式会社ピアラ 上場取引所 東  
 コード番号 7044 URL http://www.piala.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飛鳥 貴雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 下川 剛司 TEL 03-6362-6831  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	7,346	17.0	222	37.0	218	33.3	151	29.5
2019年12月期第2四半期	6,279	—	162	—	163	—	117	—

（注）包括利益 2020年12月期第2四半期 152百万円（27.9%） 2019年12月期第2四半期 119百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	21.39	20.96
2019年12月期第2四半期	16.58	16.16

（注）当社は2020年2月15日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,511	2,022	44.8
2019年12月期	4,202	1,869	44.4

（参考）自己資本 2020年12月期第2四半期 2,021百万円 2019年12月期 1,867百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注） 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 2020年12月期期末配当金の内訳 普通配当3円00銭 記念配当2円00銭（東証一部市場変更記念）

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	15,865	17.0	531	30.2	518	27.5	351	12.1	円 銭 49.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	7,107,840株	2019年12月期	7,105,040株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	368株	2019年12月期	278株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	7,106,014株	2019年12月期 2 Q	7,082,986株

(注) 当社は2020年2月15日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。発行済株式数（普通株式）は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(1株当たり情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

我が国の経済は、企業の設備投資拡大、底堅い個人消費等を背景として緩やかな回復傾向にありましたが、年明け以降、新型コロナウイルス感染症が全世界に広がり、急激に世界経済が悪化した影響を受け、国内経済においてもその影響を大きく受ける状況となりました。

2020年における当社グループの主要な事業領域である、ビューティ&ヘルス及び食品ECの市場規模は、2.6兆円を超えると予想（「通販・eコマースビジネスの実態と今後2019」（株式会社富士経済）より該当商品カテゴリーを合算）され、シニア人口の増加に伴う、セルフメディケーション（ヘルスケア）、アンチエイジングといった健康・美容志向の高まりなどを受け、拡大傾向にあり、必然的にマーケティングコストの拡充も見込まれます。

このような状況下において、当社グループは「全てがWINの世界を創る」という経営理念のもと、「Smart Marketing For Your Life」をビジョンに、「ECトランスフォーメーション」を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、「#SAVE YOUR LIFE」プロジェクトを始動し、5月よりハンドクリーンジェル等の販売を開始致しました。「#SAVE YOUR LIFE」プロジェクトは、不足する衛生用品などを適切な価格で、できるだけ多くの消費者や医療機関などに届けるためのプロジェクトです。在庫不足や転売などにより価格が高騰し、本当に必要な人に適切な価格で商品が流通しない状況が続いていたため、ビューティ&ヘルス領域の支援企業としてこの現状を解決するために本プロジェクトを立ち上げました。医療機関に優先的に提供するため、医療・介護・子育て分野の課題解決をクラウドサービスで提供する株式会社カナミックネットワークと提携し、衛生用品が必要とされる場所へ行き渡るよう、安定的な供給に努めました。また、本品の収益の一部を医療機関などに寄付させていただきました。

6月には「タイ王国へ進出したい」をPRから販売まで一気通貫でサポートする、メディア×EC×店舗のビジネスモデル「チャンネルJプロジェクト（仮）」を開始致しました。

現在、タイで日本の化粧品や健康食品、食材を広めたいメーカーや各地方自治体からの農産物の紹介依頼が増えています。その中で、日本国内におけるビューティ&ヘルス事業の経験や越境ECの実績をもとに、タイへの進出をサポートし、ECモール出店や複合店舗展開などに向けて進めていく予定です。

今回開始するプロジェクトでは、オンラインとオフラインを統合したOMOプラットフォーム※を構築し、タイの富裕層やタイ在住の外国人をターゲットに、全国のメーカー、生産者から募った日本製品や日本産食材の情報発信と提供を行います。

※オンライン（EC、動画配信等）とオフライン（実店舗等）を連動させたOMO（Online Merges（with）Offline）

今後は、日本料理動画メディア『Channel J（チャンネルジェイ）』に続き、日本製品や日本産食材専門の自社EC「Channel J（日本料理動画メディアと同名）」や「Cosme Land」の展開及び現地ECモール「LAZADA」や「Shopee」などの出店、そして「レストラン」「カフェバー」「物販」の複合型実店舗『Wagyulab & J Market（仮）』の展開を予定しています。

連結従業員数については、2019年12月末168名に対して187名（2020年6月末現在）と増員している他、報酬制度を含む人事制度を刷新する事で働き方改革への取り組みに着手しており、専門学校、大学及び大学院の学生を対象に、新たな人材の育成を目的としたクラウド型インターンシップの利用を開始しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,346,578千円となり、千円（前年同期比17.0%増）となりました。これはマーケティングによる成果を保証するKPI保証サービスの強化によりECマーケティングテック売上高が前連結会計年度より継続して堅調に推移したことに加えて、「#SAVE YOUR LIFE」プロジェクト開始に伴いハンドクリーンジェル等の販売を開始したことによるものであります。

売上総利益は、1,188,380千円（前年同期比11.5%増）となりました。これは外注費の増加に加えて、「#SAVE YOUR LIFE」プロジェクト開始に伴いハンドクリーンジェル等の商品仕入れを行ったことにより売上原価を6,158,198千円（前年同期比18.1%増）計上したことによるものであります。

営業利益は、222,262千円（前年同期比37.0%増）となりました。これは業容拡大により人件費や営業経費等が増加した一方で、前年同期に本社移転関連費用を計上した反動減もあり、販売費及び一般管理費を966,117千円（前年同期比6.9%増）計上したことによるものであります。

経常利益は、218,041千円（前年同期比33.3%増）となりました。これは営業外収益として補助金収入10,931千円を計上した一方で、営業外費用として支払利息4,542千円、為替差損3,938千円及び7月30日付で東京証券取引所第一部に市場変更したことに関連して当第2四半期連結累計期間に発生した市場変更費用4,435千円を計上したことによるものであります。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、151,971千円（前年同期比29.5%増）となりました。これは法人税等合計を66,445千円計上したことによるものであります。

なお、当社グループはEC支援事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ147,410千円増加し、3,608,178千円となりました。これは主に現金及び預金が237,719千円、商品が69,176千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が171,403千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ161,573千円増加し、902,961千円となりました。これは主に投資有価証券の増加118,180千円及びソフトウェアの増加37,364千円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ308,983千円増加し、4,511,140千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ72,973千円減少し、2,125,659千円となりました。これは主に1年以内返済予定の長期借入金が105,940千円、買掛金が49,980千円及び未払法人税等が25,523千円増加した一方で、短期借入金が205,000千円、未払消費税等が34,769千円及び前受金が13,918千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ228,448千円増加し、362,917千円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ155,474千円増加し、2,488,576千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ153,508千円増加し、2,022,564千円となりました。主な増加要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加であります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ237,719千円増加し、当第2四半期連結会計期間末には1,851,188千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、290,692千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益218,041千円に、売上債権の減少額171,403千円及び仕入債務の増加額50,247千円を調整した一方で、棚卸資産の増加額69,176千円及び未払消費税等の減少額34,769千円を調整すると共に、法人税等を52,189千円支払ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、185,178千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出120,000千円、有形固定資産の取得による支出2,283千円、無形固定資産の取得による支出62,707千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、129,735千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出65,612千円及び短期借入金の純減額205,000千円があった一方で、長期借入れによる収入400,000千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症の業績への影響は軽微なものとなりました。しかし、一部対面営業の顧客の営業自粛や対面接客を伴う広告マーケティング支援の延期や中止による広告出稿の減少が見られます。これに対し、外出自粛に伴う巣ごもり消費の需要増加によるEC支援は堅調で、新規ヒット商品も出始めています。更に当社の行う「#SAVE YOUR LIFE」プロジェクトによる衛生用品等の販売増加が見込まれます。

これらを考慮した結果、新型コロナウイルス感染症の業績への影響は軽微であると想定しており、2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年2月13日付公表の決算短信に記載した業績予想に変更はありません。また、引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況等を注視していき、当社の業績に大きな影響があり、通期業績予想について修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,613,469	1,851,188
受取手形及び売掛金	1,762,383	1,590,979
商品	—	69,176
前渡金	35,294	19,906
その他	55,764	81,173
貸倒引当金	△6,143	△4,245
流動資産合計	3,460,768	3,608,178
固定資産		
有形固定資産	95,187	91,492
無形固定資産	116,044	153,407
投資その他の資産	530,157	658,062
固定資産合計	741,388	902,961
資産合計	4,202,157	4,511,140
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,115,741	1,165,722
短期借入金	630,000	425,000
1年内返済予定の長期借入金	106,904	212,844
未払金	79,831	77,659
未払法人税等	63,885	89,409
賞与引当金	62,163	66,059
その他	140,105	88,964
流動負債合計	2,198,632	2,125,659
固定負債		
長期借入金	131,469	359,917
その他	3,000	3,000
固定負債合計	134,469	362,917
負債合計	2,333,101	2,488,576
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	847,755	848,280
資本剰余金	810,355	810,880
利益剰余金	205,023	356,994
自己株式	△425	△567
株主資本合計	1,862,708	2,015,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,228	△34
為替換算調整勘定	3,643	5,961
その他の包括利益累計額合計	4,871	5,926
新株予約権	1,050	1,050
非支配株主持分	426	—
純資産合計	1,869,055	2,022,564
負債純資産合計	4,202,157	4,511,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,279,129	7,346,578
売上原価	5,213,319	6,158,198
売上総利益	1,065,810	1,188,380
販売費及び一般管理費	903,587	966,117
営業利益	162,223	222,262
営業外収益		
受取利息	28	44
補助金収入	12,510	10,931
その他	51	166
営業外収益合計	12,590	11,142
営業外費用		
支払利息	4,041	4,542
為替差損	4,565	3,938
市場変更費用	—	4,435
その他	2,685	2,448
営業外費用合計	11,293	15,364
経常利益	163,520	218,041
特別利益		
受取和解金	28,061	—
特別利益合計	28,061	—
特別損失		
和解金	25,754	—
その他	1,991	—
特別損失合計	27,745	—
税金等調整前四半期純利益	163,836	218,041
法人税、住民税及び事業税	18,059	78,304
法人税等調整額	28,388	△11,858
法人税等合計	46,448	66,445
四半期純利益	117,388	151,595
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△375
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,388	151,971

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	117,388	151,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,262
為替換算調整勘定	1,910	2,267
その他の包括利益合計	1,910	1,004
四半期包括利益	119,298	152,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,298	153,026
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△426

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	163,836	218,041
減価償却費	78,398	41,498
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,878	△1,897
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,052	3,895
受取利息	△28	△44
支払利息	4,041	4,542
補助金収入	△12,510	△10,931
受取和解金	△28,061	-
和解金	25,754	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△663,118	171,403
たな卸資産の増減額 (△は増加)	-	△69,176
前渡金の増減額 (△は増加)	15,705	15,388
仕入債務の増減額 (△は減少)	392,225	50,247
未払金の増減額 (△は減少)	△42,110	△7,641
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,495	△34,769
その他	△7,329	△40,713
小計	△93,761	339,843
利息の受取額	28	44
利息の支払額	△4,162	△4,741
補助金の受取額	12,510	10,931
和解金の受取額	14,000	-
和解金の支払額	△25,754	△3,197
法人税等の支払額	△70,083	△52,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	△167,221	290,692
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△94,718	△2,283
無形固定資産の取得による支出	△37,429	△62,707
投資有価証券の取得による支出	△107,790	△120,000
敷金の差入による支出	△61,236	△452
資産除去債務の履行による支出	△4,330	-
その他	△58	264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△305,563	△185,178
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	110,000	△205,000
長期借入れによる収入	150,375	400,000
長期借入金の返済による支出	△120,616	△65,612
株式の発行による収入	5,267	489
その他	△142	△141
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,884	129,735
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,350	2,470
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△325,550	237,719
現金及び現金同等物の期首残高	1,444,772	1,613,469
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,119,221	1,851,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、EC支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円58銭	21円39銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	117,388	151,971
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	117,388	151,971
普通株式の期中平均株式数(株)	7,082,986	7,106,014
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	16円16銭	20円96銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	181,058	144,328
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当社は、2020年2月15日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。